



第 38 回日本炎症・再生医学会

スポンサー募集要項

(2016 年 8 月版)

第 38 回日本炎症・再生医学会
会長 佐野 統
兵庫医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病科

ご挨拶

第 38 回日本炎症・再生医学学会
会長 佐野



皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第 38 回日本炎症・再生医学学会を 2017 年 7 月 18 日(火)、19 日(水)の 2 日間、大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)で開催させて頂くことになりました。大変光栄なものと存じますとともに、この伝統ある学会に恥じない学会にできるように全力を尽くす所存でございますので、皆さまのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本学会は、昭和 55 年 7 月日本炎症学会として、塩川 優一先生、水島 裕先生、鶴藤 丞先生らのご尽力により東京で開催されました。特別講演には、翌年ノーベル賞を受賞されるカロリンスカ研究所のサミュエルソン教授が招待され、プロスタグランジン・ロイコトリエンの発見について講演され大盛況でありました。平成 12 年からは日本炎症・再生医学学会として、学際的領域をより広く包含する学会へと発展致しました。

本学会は、基礎的な炎症学と再生医学の成果を、ヒトの疾患に応用し、病因・病態の解明、新規治療法の開発とその作用機序について、討論する場を提供することを使命としています。炎症—免疫—線維化—再生修復は一連の反応であり、切っても切れない関係にあります。2012 年、本学会理事である山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞されたように、日本の再生医療研究は世界をリードしています。また、サイトカインを標的とした生物学的製剤は多くの炎症性疾患治療にパラダイムシフトを齎しました。基礎・臨床、炎症・再生の分野を超えた、縦断的・横断的な講演と討論が、本学会の特徴であり、素晴らしいところであると考えます。

このような背景から、第 38 回日本炎症・再生医学学会のメインテーマは、「炎症制御と再生医療の調和～Beyond the Border～」と致しました。

今回、会長招聘講演に細胞膜脂質研究の世界的第 1 人者であり、長年の友人であるハーバード大学 H1a 教授をお招きし、「スフィンゴシン-1-リン酸シグナルの恒常性、病理、再生における役割」というタイトルでお話をお聞きます。特別講演は、炎症の立場から京都大学の成宮 周教授、再生分野から慶應義塾大学の岡野 栄之教授にご講演を賜ります。招聘講演は、トムソン・ロイター引用栄誉賞の受賞者 3 名、大阪大学の審良 静男教授、坂口 志文教授、東京大学の水島 昇教授にお願いしています。

シンポジウムは、専門領域と関係なく、分野横断的かつ疾患克服に繋がるホットなテーマを中心に、長期的な視野から 16 の企画を致しました。また、日本再生医療学会、日本骨免疫学会との共同シンポジウムも行われます。教育講演は 16 企画を予定し、すべてスポンサーとし、両分野に跨る最新知見を本邦のトップランナーの先生方から講演して頂きます。勿論、会員からの一般公募演題は学会研究発表の中心であり、ポスター形式で発表頂きます。その中から、優秀ポスター賞を数題選び表彰し、若い先生の励みにして頂きたく存じます。

本学会総会をより実り多いものにするために、これらの企画は不可欠ですが、会員の参加費のみでは十分ではなく、ご賛同頂いた企業の皆様のご協力なくしては実現が難しい状況にあります。このような事情にご配慮頂き、第 38 回日本炎症・再生医学学会をより充実したものにするべく、ご支援・ご協力を頂ければ幸いです。何卒ご検討を頂きたく、ここに書面をもってお願い申し上げます。

開催概要

- 1.会議名称 第38回日本炎症・再生医学会
- 2.主 催 日本炎症・再生医学会
- 3.会 長 佐野 統（兵庫医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病科）
- 4.会 期 2017年7月18日（火）～19日（水）
- 5.会 場 大阪国際会議場（〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51）
- 6.大会事務局 兵庫医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病科
〒663-8501 西宮市武庫川町 1-1 TEL：0798-45-6591 FAX：0798-45-6593
- 7.運営事務局 株式会社 エー・イー企画
〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6階
TEL：06-6350-7247 FAX：06-6350-7164 E-mail：jsir2017@aeplan.co.jp
- 8.会議概要
- 1) テーマ
炎症制御と再生医療の調和～Beyond the Border～
- 2) プログラム（予定）
- 会長講演 佐野 統、Timothy Hla（ハーバード大学）
- 特別講演 成宮 周（京都大学）、岡野 栄之（慶應義塾大学）
- 招聘講演 審良 静男（大阪大学）、坂口 志文（大阪大学）、水島 昇（東京大学）
- シンポジウム
1. 免疫制御と再生医療
 2. iPS細胞を用いた創薬
 3. 炎症と老化
 4. リピッドメディエーター
 5. 組織工学を活用した再生医療
 6. オートファジー
 7. 血管の炎症と再生
 8. iPS細胞を用いた再生医療
 9. 皮膚再生の最前線
 10. 関節リウマチの最前線
 11. 疾患と幹細胞
 12. 炎症の慢性化と線維化の制御
 13. 骨・軟骨の炎症と再生
 14. 癌免疫：PD-1に続くもの：Treg制御、MDSCの制御
 15. ライブイメージング
 16. 腸内微生物と疾患

教育講演

1. 生物学的製剤による治療戦略の現況と未来
2. ウイルス肝炎の最前線
3. 炎症と悪性腫瘍
4. JAK 阻害薬の動向
5. 自己抗体と炎症（中枢神経系）
6. iPS 細胞技術による自己炎症症候群の解析
7. 新規免疫制御因子 **Fezf2** と免疫寛容
8. 慢性炎症におけるガイドランス因子の病的意義
9. 免疫細胞の可視化
10. 1 型糖尿病の治療の新展開
11. 自己抗体と炎症
12. 再生医療等製品としての初のヒト自己骨格筋由来細胞シートの開発と臨床応用
13. サイトカイン制御と炎症抑制
14. 関節リウマチ 今後 10 年の展望
15. 全身性自己免疫疾患の治療展望
16. セマフォリンによる炎症・免疫制御
17. RA 治療における JAK 阻害薬の臨床的意義
18. RA 治療の新展開
19. RA における炎症性サイトカインの新知見
20. 生物学的製剤による RA 治療
21. 抗 TNF 療法の現状と将来展望
22. RA 治療最前線
23. 自己免疫疾患の新規標的分子と治療戦略
24. RA 治療薬の破骨細胞作用機序
25. Effect of T cell co-stimulation molecules in the bone impact for rheumatoid arthritis
26. 骨粗鬆症の最新治療
27. Osteoimmunology における RANKL の役割
28. 皮膚の免疫応答とサイトカイン抑制
29. 生活習慣病と炎症制御
30. 骨再生におけるバイマテリアルの役割
31. 再生医療における Exosome の役割
32. 間葉系幹細胞の有する抗炎症作用の応用
33. 炎症反応が制御するがん幹細胞特性
34. 腸管炎症の制御

ポスターセッション

3) 日程

日程	午前	午後	夕
7月17日(月)			理事会 評議員会
7月18日(火)	シンポジウム 会長講演	教育講演 特別講演 シンポジウム	招聘講演 ポスター発表 教育講演 懇親会
7月19日(水)	教育講演 シンポジウム 招聘講演	教育講演 ポスター発表 特別講演 シンポジウム	

4) 参加予定人数 約 1,000 人

スポンサー募集要項

I. 共催セミナー

共催セミナーは、「教育講演」として第 38 回日本炎症・再生医学会で開催されるセミナーです。下記一覧よりお選びいただき、申込書には第 1 希望から第 7 希望まで明記してください。

テーマ番号	タイトル
テーマ 1	生物学的製剤による治療戦略の現況と未来
テーマ 2	ウイルス肝炎の最前線
テーマ 3	炎症と悪性腫瘍
テーマ 4	JAK 阻害薬の動向
テーマ 5	自己抗体と炎症（中枢神経系）
テーマ 6	iPS 細胞技術による自己炎症症候群の解析
テーマ 7	新規免疫制御因子 Fezf2 と免疫寛容
テーマ 8	慢性炎症におけるガイドンス因子の病的意義
テーマ 9	免疫細胞の可視化
テーマ 10	1 型糖尿病の治療の新展開
テーマ 11	自己抗体と炎症
テーマ 12	再生医療等製品としての初のヒト自己骨格筋由来細胞シートの開発と臨床応用
テーマ 13	サイトカイン制御と炎症抑制
テーマ 14	関節リウマチ 今後 10 年の展望
テーマ 15	全身性自己免疫疾患の治療展望
テーマ 16	セマフォリンによる炎症・免疫制御
テーマ 17	RA 治療における JAK 阻害薬の臨床的意義
テーマ 18	RA 治療の新展開
テーマ 19	RA における炎症性サイトカインの新知見
テーマ 20	生物学的製剤による RA 治療
テーマ 21	抗 TNF 療法の現状と将来展望
テーマ 22	RA 治療最前線
テーマ 23	自己免疫疾患の新規標的分子と治療戦略
テーマ 24	RA 治療薬の破骨細胞作用機序
テーマ 25	Effect of T cell co-stimulation molecules in the bone~impact for rheumatoid arthritis
テーマ 26	骨粗鬆症の最新治療
テーマ 27	Osteoimmunology における RANKL の役割
テーマ 28	皮膚の免疫応答とサイトカイン抑制
テーマ 29	生活習慣病と炎症制御
テーマ 30	骨再生におけるバイマテリアルの役割
テーマ 31	再生医療における Exosome の役割
テーマ 32	間葉系幹細胞の有する抗炎症作用の応用
テーマ 33	炎症反応が制御するがん幹細胞特性
テーマ 34	腸管炎症の制御

共催セミナー開催時間は、予定のため若干変更となる場合がございます。

会場席数は、約 200～450 席となる見込みです。

撮影機材等をご利用される場合、機材スペースに相当する席数が減る可能性があります。

1. 共催セミナー共催費

共催費 3,000,000 円（消費税別）

共催費内訳 2,000,000 円（講演会場費、共催控室、付帯設備、会場備品）

500,000 円（映像・音響・照明機材費）

500,000 円（共催事務局経費）

※司会・講師謝礼、交通費、宿泊費等は上記金額に含まれません。

※機材に含まれる機材は、講演会場内スクリーン、プロジェクター、PC（Win）マイク、照明、レーザーポインター等基本設備です。

録音、ビデオ撮影、同時通訳費用、控室 PC 等は含まれません。当日会場内アナウンス、照明係、座長および演者への飲料はご用意しておりません。

ご相談のうえ別途請求させていただきます。

※セミナープログラムの決定：共催セミナーの座長および演者、内容については、貴社の意向を最大限考慮しますが、企画内容や講師が重複している場合は、調整および最終決定は、プログラム委員会および学会長にご一任ください。

2. 講演要旨（抄録原稿）のご提出

演者には、抄録のご提出をお願いしております。詳細は、後日通知いたします。

3. その他

内容の公表について

セミナー内容の公表については、共催企業様にお任せいたしますが、事前に必ず講演者の承諾を得てください。

公表を希望される場合は、学会誌「Inflammation and Regeneration」Online Journal へ優先的に掲載いたします。

なお、ご投稿いただく際には、以下の点をご確認ください。

1) 学会誌「Inflammation and Regeneration」の投稿規定に準じてご投稿いただきます。

掲載の可否については、編集委員会一任とさせていただきますのでご了承ください。

2) 原稿のとりまとめ等の準備および費用については、申込者負担とさせていただきます。

4. 申し込み期限

2016 年 10 月 31 日（月）

5. 申し込み方法

申込書①に必要事項をご記入いただき、運営事務局宛に FAX にてお送りください。

II. 広告

1. プログラム抄録集

- ・媒体製作費 1,200 円×2,500 部=3,000,000 円（税別） ※予定
- ・サイズ A4
- ・データ入稿方法 イラストレーター・確認用 PDF

掲載位置	金額	ページ数
表 4 カラー	220,000 円（税別）	1 ページ
表 2・表 3 モノクロ	160,000 円（税別）	各 1 ページ
後付 1P モノクロ	75,000 円（税別）	5 ページ
後付 1/2P モノクロ	55,000 円（税別）	6 ページ

※料金には広告の製作費は含まれておりません。

2. ホームページバナーリンク

学会ホームページのトップページにロゴを掲載いたします。

ロゴとリンク先 URL をご用意ください。掲載サイズは後日お知らせします。

バナーリンク料金 100,000 円（税別） 3 社

3. コングレスバックへの広告封入

- ・一枚ものでサイズは A4 以下となります。
- ・料金には、広告の製作費等は含まれておりません。
- ・後日、指定された場所と日時に広告を郵送していただきます。
- ・協賛費 100,000 円（税別） 10 枠

4. 申し込み期限

2017 年 3 月 15 日（水）

5. 申し込み方法

申込書②に必要事項をご記入いただき、運営事務局宛に FAX にてお送りください。

III. 制作物

1. コングレスバック

- ・ 媒体製作費 1,500,000 円（税別）※予定
- ・ 発行部数 1,000 部 ※予定
- ・ 学会ロゴ、スポンサーロゴまたは商品ロゴがバックに記載されます。
- ・ バックのデザイン等は、主催者が決定いたします。
- ・ 協賛費 750,000 円（税別） 2 社

2. ネームカードストラップ+ケース

- ・ 媒体製作費 800,000 円（税別） ※予定
- ・ 発行部数 1,000 部 ※予定
- ・ 学会名、スポンサーロゴまたは商品ロゴが印刷されます。
- ・ デザイン等は、主催者が決定いたします。
- ・ 協賛費 750,000 円（税別） 1 社

3. 申し込み期限

2017年3月15日（水）

4. 申し込み方法

申込書②に必要事項をご記入いただき、運営事務局宛に FAX にてお送りください。

※各セミナーの席数および時間、制作物の仕様等は、学会開催上の都合により、主催者の判断で変更されることがあります。

IV. 機器展示会

1. 名 称 第38回日本炎症・再生医学会 医薬品・医療機器展示会

2. 開 催 日 搬入・設営：2017年7月18日（火）8:00-10:00
展示会：2017年7月18日（火）10:00-18:00
2017年7月19日（水）9:00-16:00
撤去・搬出：2017年7月19日（水）16:00-17:00

3. 展示会場 大阪国際会議場 10階 1004-1007 またはホワイエ

4. 募集対象 医療・健康機器、検査機器、医薬品、書籍、その他

5. 出展料金

内容	小間サイズ	出展料（税別）
機器展示	W1,940mm×D990mm×H2,400mm	150,000円
書籍展示	机1本	10,000円

6. 小間配置 主催にて決定します。

7. 出展物 出展対象に記載された範囲のもの、および当方の認めたものとします。

8. 薬事法未承認品の展示について

運営事務局にお問合せください。

9. 出展社へのご案内

出展者説明会は予定しておりません。小間割、搬入出、装飾、管理等については、開催の1ヵ月前に詳細な出展要項をご案内いたします。什器・照明器具等のリースもこの時期にご案内します。

10. 禁止事項 会期中に現金と引き換えに出展物を販売することを禁止します。

11. 会場の管理

会場および出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その他の不可抗力による事故、盗難、紛失および小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

12. 会期・開催時間の変更

やむを得ない事情により会期および開催時間を変更する場合があります。この変更を理由として出展申し込みを取り消すことは出来ません。また、これによって生じた損害は補償しません。

13. 本学会への参加資格について

出展社に対しては、第 38 回日本炎症・再生医学会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はありません。展示会場以外の会場へのご入場は、受付にて参加費をお支払いのうえ、ご入場ください。

14. 申し込み期限

2017 年 3 月 15 日（水） ※募集小間数に達し次第、締め切らせていただきます。

15. 申し込み方法

申込書③に必要事項をご記入いただき、運営事務局宛に FAX にてお送りください。

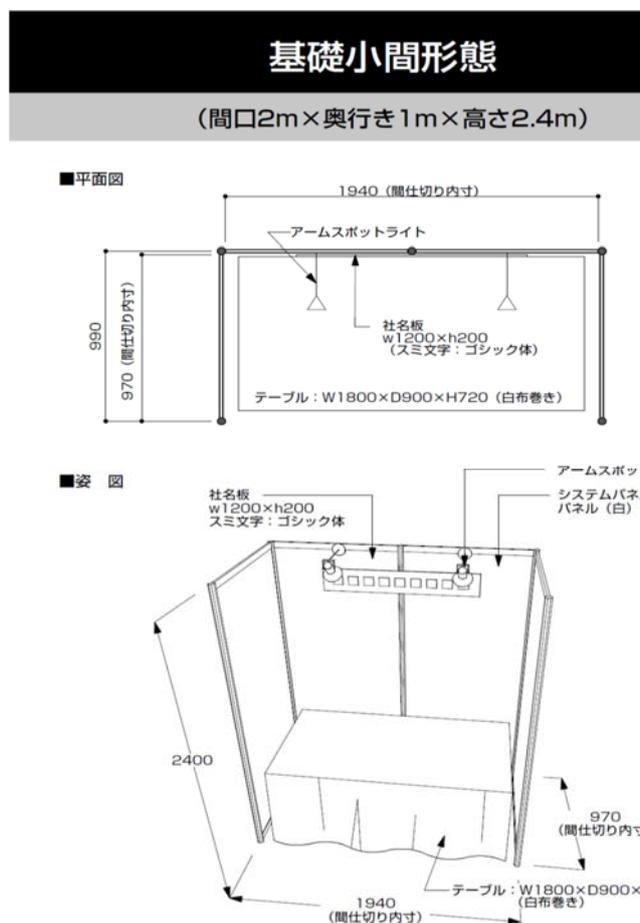
16. 出展料のお支払い

締切後、請求書をお送りいたします。査収後 1 ヶ月以内に指定口座（詳細は請求書に記載）にお振り込みください。

17. 出展申し込みの取り消し

2017 年 3 月 15 日（水）以降の取り消しについては、一切お受けできませんので予めご了承ください。

18. 基礎小間見取り図



19. お振込先

銀行名：三井住友銀行 西宮支店

店番：370

口座番号：普通 8738457

口座名：第38回日本炎症・再生医学会 会長 佐野 統

ダイサンジュウハチカイニホンエンショウサイセイイガクカイ

カイチョウ サノ ハジメ

20. 問合わせ先（運営事務局）

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL：06-6350-7247 FAX：06-6350-7164 E-mail：jsir2017@aeplan.co.jp